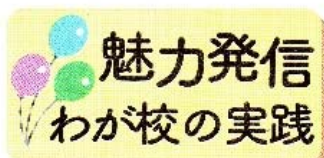


栃木県立栃木工業高校

①

本校は昭和37年創立、本年度60周年を迎えました。現在の在籍生徒数475人、機械科・電気科・電子情報科の3科を有する工業科専門高校です。

校訓「和顔愛語」の下、ものづくりを支える総合的な力を身に付け、地域社会から信頼され活躍できる技術者の育成を目標としています。



〈80〉

東南アジアに目を向けてともに生き、思いやる心養う



国際的感覚を持った人間教育を目指すタイ王国ボランティア活動

また、工業技術を生かした生徒主体とする地域貢献活動や、福祉と工業を結びつけた国際的な福祉活動などを長年継続的に取り組んでいます。

この活動は、今から30年前の平成3年度に創立30周年の記念事業の一環として、国際的感覚を持った人間教育を目指し、企画されました。「見つめよう地域から世界へ」を掲げ、

(山野井清秀教諭)

「空飛ぶ車いす」活動使われなくなった車いすを校内で修理し、生徒やボランティア個人の手を経て、困っているアジアの国々の人たちに車いすを届けるという活動です。

日本の近隣にある東南アジアに目を向けて、本校が目指す国際性とボランティア体験により、「ともに生きる心」と「相手思いやる心」を養い、グローバルな感覚を身に付けさせることを目的としています。

日本教育新聞

2022年(令和4年)2月14日(月曜日)

栃木県立栃木工業高校

②

前回に続き、本校の特色ある活動について紹介します。

・テクノボランティア
学校周辺地域の小・中学校などからの要望により、施設や設備の修繕や教材を製作するという活動です。地域との交流や貢献を目的とし、工業高校ならではの授業で学んだ知識と技術を生かしたボランティア活動となっ



〈81〉

プログラミング専用PCを開発



これまで数多く実施してきたプログラミング出前講座

接続するだけですが、プログラミングを始め、活動することによって「高校で学ぶ技能・技術」を体現でき、自己肯定感・有る感の醸成、自身の大きな成長となっています。

また、ひいては「地域の教育資源」を持続的に循環させるモデルともなり、昨今のSDGsの実践にもつながっていると感じています。

(山野井清秀教諭)

「起業家精神育成活動」の取り組みの一環としてプログラミング専用PCを開発しました。活動途中から、小学校でのプログラミング必修化の時流も起き、この活動に対する要望や期待度が年々大きくなるのを感じています。

一般商品化し、商標登録も認定され、現在、約1700台が全国へ出荷され、販売されています。また、この自校発パソコンを用い、本校の生徒をメンター(講師)としたものづくりやプログラミングの楽しさを広める貢献活動「スカイベリージャムレシ」を継続的に実施しています。